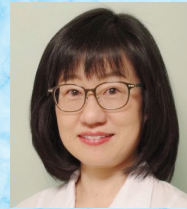


## 🧩 今ここで頑張っています 🧩

### 人生はパズルのように

ライオン株式会社 研究開発本部 業務管理部 (旧:企画管理部) 品質チーム  
大山 (児玉) 雅江 (新制42回)



1992年宇佐美・桐村研を卒業後、ライオン(株)研究開発本部に就職した。化学品研究所に配属され、技術系営業マンと一緒に全国各地のユーザー企業を訪問しながら工業用洗浄剤などを開発していた。そんな部所で図らずも第一号ママとなった。産休明けで復職してバリバリ出張もこなすはずだった。しかし、子供は生ものだ。お母さんは頑張りたいけども子供は頑張れない。妊娠中体調を崩し、長女は1か月入院。長男は食物アレルギーがあり、食卓には長女用の幼児食、長男用の除去食、大人用の3種類の食事を並べるのが当たり前になった。当時、食物アレルギーに対応できる預け先は少なく、毎月保育園・学校と給食メニューの読合せを行い、お弁当を持ち込んだ。追い打ちをかけるように喘息、アトピーを発症。朝晩の吸入、投薬が日課となり、体力はいつもギリギリ低空飛行。子供が病気になると、子供から病気をもらってしまう。私自身も二度入院し、親からは仕事を辞めろと何度も言われた。それでも小学2年生の時に「科学者になりたい」と思った夢を諦めなくなかった。名前が売れているわけでもない民間企業の研究員が会社を辞めたら研究職に戻るのには難しい。疲れていたり、体調が悪かったりすると、忍耐力が下がり、子供のわがままやいたずらについて声を荒げてしまう。一日に数時間しか子供と顔を合わせないのだから、その間ぐらいいは子供の気持ちや行動を理解できるお母さんでいたい。

そこで、人生をパズル化した。

若い頃のように気力と体力で時間と処理量を稼ぐことができないとしたら、決まったエリアの中にパズルを当てはめていくしかない。仕事、育児、介護、保護者、PTA、自治会、嫁、友人などのピースを用意し、まずは大きなピースを数年越しで配置し、残ったエリアに残りのピースを当てはめる。時にはかなりの変形ピースになったり、細切れピースになったりすることもあるが、これで諦めることは少なくなった。

仕事においては「自分にしかできない」オンリーワンを目指すようにした。皆がやりたがる流行りの

花形業務の中では、なかなかオンリーワンにはなれない。そこで、化学物質管理や法規制対応の仕事を一手に引き受け、自分のポジションを自分で作った。世界的にGHSが導入され始め、将来注目されるかどうかもわからなかったがGHSの導入を地道にやり続けたところ、上司の代わりに関係省庁の方々とのJIS改正会議に代表委員として参加する機会を得た。その後、GHSガイドライン作成委員会にも参加し、独学で覚えた実務内容について社外の人と対等に話し合えたことは大きな収穫になった。この経験を糧に会社でステップアップし、その後、企画管理部(現;業務管理部)に異動して、化学物質情報管理システムプロジェクトのメンバーになり、2017年に本稼働にこぎつけた。オンリーワンを目指し積み重ねてきた仕事がよく実を結んだ。

少なからず苦勞した仕事と育児の両立については私から会社に提案した改善策がほぼ取り入れられ、現在はかなり両立しやすい環境になっている。

私の座右の銘は「昨日の自分より今日の自分、今日の自分より明日の自分が成長していればそれでよし」だ。しかし、社会人ともなると他人と比較され、心が折れることもある。そうすると、別の誰かが声をかけてくる。「あなたの力が必要だ」「是非あなたにやってもらいたい」名刺や略歴には書けないピースかもしれないが、まだまだ私を必要としてくれる人がいる。

2017年から早稲田応用化学会の交流委員を引き受けた。4月からは長女が早大生になる。卒業生、保護者の両方の立場から母校の発展を応援していく所存である。

その一方で、まだまだ自分のやりたいピースが残っている。もう少しパズルのエリアを広げないと全部当てはまりそうもない。年々、エリアを横に広げるのが難しくなっているの、願わくは縦にエリアが伸びてくれるとありがたいなと思っている。